

日文研シンポジウム

# 妖怪データベース

# からの創造

—公開15周年記念シンポジウム

主催：大学共同利用機関法人

人間文化研究機構 国際日本文化研究センター

後援：基幹研究プロジェクト

「大衆文化の通時的・国際的研究による新しい日本像の創出」(近世班)

全体進行

今井秀和(日文研機関研究員)

基調講演

「妖怪データベースは役に立ったか？」

小松和彦(日文研所長)

報告

「妖怪データベースの使われ方」

山田奨治(日文研教授)

パネル討論

「妖怪研究から文化創造へ」

パネリスト 峰守ひろかず(小説家)

伊藤慎吾(学習院女子大講師、日文研客員准教授)

松村薫子(大阪大准教授)

郡司聡(株)KADOKAWA執行役員、『怪』特別編集顧問

司会 安井眞奈美(日文研教授)



2017年7月29日(土) 14:00—16:30(開場13:15)

無料送迎バスはございません

入場無料・先着500名・申込み不要

国際日本文化研究センター内講堂(日文研ホール)



日文研 30周年  
NICHIBUNKEN 30TH ANNIVERSARY

## 開催趣旨

日文研の「怪異・妖怪伝承データベース」は、公開から15周年を迎えました。日文研の妖怪系のDBは、研究に役立てられているだけでなく、小説や広告、出版などのクリエイティブ分野にも活用されています。このシンポジウムでは、妖怪研究のデータを創造分野で活用してきた方々と研究者をお招きし、DBの発展の方向性を議論します。

## パネル討論趣旨「妖怪研究から文化創造へ」

妖怪研究によって集積された情報から、新たな文化が創造されています。日文研の妖怪データベースを活用して小説『ほうかご百物語』シリーズ（アスキー・メディアワークス—KADOKAWA）等を著した峰守ひろかず氏、大衆文化のなかの妖怪文化を研究する伊藤慎吾氏、「妖怪地域おこし」を研究する松村薫子氏、雑誌『怪』を創刊して最近20年間の妖怪ブームを創ってきた郡司聡氏が、ご自身の実践とこれからの妖怪文化、データベースの未来を語ります。

### 小松 和彦

東京都立大学大学院博士課程単位取得退学。専門は民俗学。日文研の「怪異・妖怪伝承DB」「怪異・妖怪画像DB」を監修。著書に『憑霊信仰論 妖怪研究への試み』（伝統と現代社, 1982; 講談社学術文庫, 1994）、『妖怪文化入門』（せりか書房, 2006; 角川文庫, 2012）、『百鬼夜行絵巻の謎』（集英社文庫ビジュアル版, 2008）など。2016年、文化功労者顕彰。

### 山田 奨治

筑波大学大学院修士課程修了。京都大学博士（工学）。専門は情報学と文化交流史。日文研の「怪異・妖怪伝承DB」「怪異・妖怪画像DB」のシステム開発を担当。著書・編書に『マンガ・アニメで論文・レポートを書く』（ミネルヴァ書房, 2017）、『日本の著作権はなぜもっと厳しくなるのか』（人文書院, 2016）、『日本怪異妖怪大事典』（東京堂出版, 2013）など。

### 峰守 ひろかず

『ほうかご百物語』で2007年に第14回電撃小説大賞〈大賞〉受賞。著書に『絶対城先輩の妖怪学講座』シリーズ（アスキー・メディアワークス—KADOKAWA, 2013）、『お世話になっております。陰陽課です』シリーズ（KADOKAWA, 2015）、『ほうかご百物語』シリーズ（アスキー・メディアワークス—KADOKAWA, 2008）など。

### 伊藤 慎吾

國學院大学大学院博士課程単位取得退学。埼玉大学博士（学術）。専門は日本文学、研究テーマは物語文学史、現代における古典文学の受容。著書に『中世物語資料と近世社会』（三弥井書店, 2017）、『室町戦国期の公家社会と文事』（三弥井書店, 2012）、『室町戦国期の文芸とその展開』（同, 2010）、編書に『妖怪・憑依・擬人化の文化史』（笠間書院, 2016）など。

### 松村 薫子

総合研究大学院大学博士後期課程単位取得退学。博士（学術）。専門は民俗学。単著に『糞掃衣の研究—その歴史と聖性』（法蔵館, 2006）、共著に『怪異・妖怪百物語—異界の杜への誘い—』（明治書院, 2006）、『ニッポンの河童の正体』（新人物往来社, 2010）、『妖怪文化の伝統と創造—絵巻・草子からマンガ・ラノベまで—』（せりか書房, 2010）、『河童とはなにか』（岩田書院, 2014）など。

### 郡司 聡

東京外国語大学卒業後、角川書店入社。30年以上書籍編集に携わる。1997年、水木しげる氏、荒俣宏氏、京極夏彦氏らと世界で唯一の妖怪マガジン『怪』を創刊。以後、水木しげる氏らのフィールドワークに随行、怪異妖怪文化の再興に関わる。主な仕事はダン・ブラウン『ダ・ヴィンチ・コード』、京極夏彦『巷説百物語』など。

### 安井 真奈美

大阪大学大学院博士後期課程修了。博士（文学）。専門は民俗学・文化人類学。著書に『怪異と身体民俗学—異界から出産と子育てを問う—』（せりか書房, 2014）、『出産環境の民俗学—〈第三次お産革命〉にむけて』（昭和堂, 2013）、共著に『モノと図像から探る怪異・妖怪の世界』『モノと図像から探る妖怪・怪獣の誕生』『モノと図像から探る怪異・妖怪の東西』（勉誠出版, 2015-2017）など。

## 交通案内

### 本シンポジウムにつきましては無料送迎バスはございません

#### <交通手段>

「桂坂中央」行きのバスにて

「桂坂小学校前」または「花の舞公園前」下車

■阪急桂駅西口 市バス西5、西6（約30分）

京阪京都交通バス 20、20B（約20分）

■阪急洛西口駅 ヤサカバス1、6（約20分）

■JR京都駅 京阪京都交通バス 21、21A、26（約45分）

■JR桂川駅 ヤサカバス1、6（約25分）



お車でのご来場は近隣へのご迷惑となるため、固くお断りしております。但し、車椅子を利用されている等、公共交通機関でのご来場が困難な場合は、お申込みの際にその旨をお申し願います。

## お問い合わせ先



国際日本文化研究センター 研究協力課

京都市西京区御陵大枝町3-2

E-mail: koenkai@nichibun.ac.jp

WEBSITE <http://www.nichibun.ac.jp>

TEL: 075 (335) 2078 FAX: 075 (335) 2092

